

千里ライフサイエンスフォーラム開催のお知らせ

2025年2月フォーラム(第375回)

- **開催日時**：2025年2月19日(水) 18時00分～19時00分
※終了後19時00分～20時00分に懇親会を実施します。
- **開催形式**：千里ライフサイエンスセンタービル6F 千里ルームAにて会場参加と講演収録。後日約1カ月録画配信
- **配信対象**：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)
会員以外の皆様にもお申込みいただければ3日間限定で録画配信
- **講師**：大森 義裕 先生
広島大学理学部 生物科学科 教授
- **テーマ**：「キンギョのゲノム研究から遺伝病と進化の謎を解く～デメキンなぜ目が飛び出ているのか?～」
- **講演要旨**：

キンギョなどの観賞魚の遺伝子の研究はヒトの病気や生物の進化に興味深い発見をもたらしてくれます。ペットショップなどで見かけるキンギョの祖先は、普通のフナでした。約1000年前の中国でフナから赤くなるよう遺伝子に変異したキンギョが選別され、その後、さらに遺伝子変異が加わってデメキンやランチュウをはじめとした、多様なキンギョの品種が作られました。私たちは、これらの品種の「ゲノム」(すべての遺伝子の総体)を解読する研究を行っています。ゲノムを研究することで、どのような遺伝子に変異が起こるとキンギョの色や形が変わるのか?といった疑問の答えがわかってきます。デメキンの目が飛び出ているのも、遺伝子の変異が原因となっていることがわかりました。また、キンギョ以外の観賞魚であるメダカやニシキゴイについても研究をすすめており、これらのことについても議論したいと思います。

● **講師プロフィール**：

学歴：東京大学医学博士

職歴：ハーバード大学博士研究員、大阪大学 准教授、長浜バイオ大学 教授、2024年より現職

専門分野：ゲノム科学、神経科学、発生生物学

主なる著書：大森義裕「金魚いろ×かたち謎解き図鑑 どうしてデメキンやランチュウみたいになるの?」化学同人

主なる講演テーマ：「ゲノム研究」「キンギョやニシキゴイの品種多様性について」「小型魚類を使った眼の発生研究」など

参加対象/参加費：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)/ 無料

録画配信希望のお申込はご不要です。

会員以外の皆様にもお申込みいただければ3日間限定で録画配信

録画配信の準備が整い次第、視聴方法の案内メールを送らせていただきます。

申込先：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団「千里ライフサイエンスフォーラム」担当

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2 Tel：06-6873-2006 Fax：06-6873-2002

E-mail：srlf-forum@senri-life.or.jp (HP：<https://www.senri-life.or.jp/>)